

# コシヒカリ

(生産振興課、食料産業振興課)

## 1 「福井のコシヒカリ」とは

「コシヒカリ」は、昭和31年(1956年)に福井県立農事試験場(現福井県農業試験場)で育成され、名前は「越の国に光り輝く米」との願いを込めて命名されました。

粘りと弾力があり、ツヤと香りも優れていることから、福井米の主力品種として作付されているだけでなく、代表的な良食味米として全国の水稲作付面積の36%で作付される日本一の品種となっています。



### (1) 概要

#### ① 県内の主な生産地

・県下全域で作付けされており、水稲作付面積約26,000haのうち60%余りをコシヒカリが占めています。

### (2) 現在の取り組み

#### ① 食味ランキングで「特A」を獲得

「五月半ばの適期田植え」や食味検査に基づく区分集荷により、平成24年・25年産コシヒカリが食味ランキングで「特A」を獲得しました。

#### ② 「限定コシヒカリ」の販売

より食味のすぐれた米の中から、大粒を選びすぐった「限定コシヒカリ」を卸業者と共動して、高い価格で販売しています。

#### ③ 「コシヒカリを生んだ福井県」全国キャラバン、コシヒカリ一族サミット

本年9月からキッチンカーで全国を周り、各地で本県産コシヒカリのご飯と味噌汁を提供し、全国の多くの方にPRを行いました。

11月には、全国の水稲農家や研究者を本県に招き、新たな米品種の育成と消費者の評価についてのパネルセッションなどを行いました。

### (3) 新たな展開

#### ① 土づくりの推進

「秋の田起こし」運動や土壌分析に基づく土づくりを進め、さらなる品質の向上を図ります。

#### ② 「夜間かんがい」の導入

九頭竜川下流域のパイプラインから供給されるきれいで冷たい水を夜間に田んぼに入れる「夜間かんがい」を導入し、品質と食味の向上を図ります。

#### ③ 新品種の開発

平成23年からコシヒカリを超える新品種「ポストこしひかり」の開発に取り組み、「おいしい」、「作りやすい」、「環境にやさしい」品種として、平成29年度の品種登録出願を目指します。